

SQM専用フードの改良

富田 理恩（愛知県一宮市立向山小学校4年）

2年生の時に SQM（図 1）を使って駅の夜空の明るさを測った。

総合駅である駅ビルの東側の「JR 尾張一宮駅」と、西側にある「名鉄一宮駅」では、JR 側の方が人や店が多く道路も広いので明るくなるだろうと予想していたが、名鉄側の方が明るい結果になった。（図 2）

それは、都会の JR 側の方が暗くなった理由は、駅前が広くて街灯どうしのすき間があるからだと思った。反対に寂しい感じの名鉄側の方が JR 側より明るくなったのは、狭い場所に街灯がきゆうくつに立っているからだと考えた。



図 1



図 2

上のような考えを夜空の明るさ発表会で発表したところ、星空公団の小野間さんから「同じビルで出口が違っただけなので同じ空を測っているはず。それは空の明るさじゃなくて、街灯の明るさを測っているのでは。」と教えてもらった。

そこで、夜空明るさだけを測る為に、街灯の影響を受けない専用フードを作った。（図3）

て前回小野間さんにアドバイスをもらってから一年後、夜空の明るさ発表会で発表をしたところ、まだ余計な光源を拾っている事を指摘された。



図 3



図 4

フードの改良をする事にした。フードの中に厚紙を入れ、余計な光が SQM の窓に届かないようにした。（図 4）